



三輪鉱山見学 ～渋沢栄一翁がつないだ秩父の産業を知る～

【strong point/ここが言いたい!】

久那小学校では、久那地域の方のつながりによって、20年以上も前から三輪鉱山見学を市内の小中学校では最初に実施しています。現在、秩父市内で鉱山見学を実施しているのは、久那小学校と影森小学校の2校のみです。コロナ禍を経て、今回の見学は5年ぶりの実施になります。

今年度は6年生のみの実施とし、秩父太平洋セメント株式会社三輪鉱業所の方からご指導いただきます。

■実施日時 9月6日(金)
午前9時～

■実施場所 秩父太平洋セメント株式会社 三輪鉱業所
(秩父市上影森607)

■参加者 久那小学校児童 6年生 19名 教職員4名

■内容 三輪鉱業所職員の方から鉱山内外の様子や武甲山の歴史と変遷を直接教わります。



■ コロナ禍前の鉱山内見学の様子



【next plan/今後の事業展開】

秩父のシンボリック存在の武甲山の内部や外部を案内していただくこの見学は、秩父の郷土を知る上で子どもたちの貴重な経験になります。また、新一万円札の肖像になった渋沢栄一翁や林学者の本多静六氏が秩父の産業としてつなげたセメント業での武甲山の歴史と変遷への学習に発展します。

久那小学校

担当者：教頭 邊見

☎ 0494-22-1530

FAX：0494-22-7856

